



秋を告げる毎年の恒例行事、今年で16回目を迎える「目黒のさんま祭り」に焼き手として参加しました。今年で5年連続の参加となります。震災の影響が懸念されましたが、関係者の皆様の懸命な努力の甲斐もあり、今年も素晴らしい旬の味を届けることができました。

目黒のさんま祭り参加（9月4日）

台風12号の影響でしょうか、2～3分間の心地よいスコールで幕を開けた今年のさんま祭り、宮古市の復興支援も兼ねた募金活動も行われました。配布される秋刀魚は、例年と同じ7,000匹。前日の朝、宮古市を出発した今年の秋刀魚は大ぶりで、脂が乗っている、まさに旬の味覚です。



スタンバイ中のおやじたち

焼きはじめ

焼き上がり



今年も2～3台の焼き台を、『大井第一小学校』のおやじの会メンバーや『スターバックス』（目黒・五反田）のスタッフの方々と一緒に、7時間近く焼き続けました。曇り空のせいか、昨年より幾分か涼しく感じられましたが、最高級の備長炭からくる灼熱と、秋刀魚が焼ける煙は、今年もおやじ達の身も心も熱く燃やしてくれました。実行委員の横田おやじさんに感謝！！

山口校長先生、宮崎副校長先生、高先生、廣沢先生、応援とアイスパーの差し入れを、本当にありがとうございました！



左：焼き始める前の8:30頃に撮影。
右：全てを焼き終えた16:30頃に撮影。

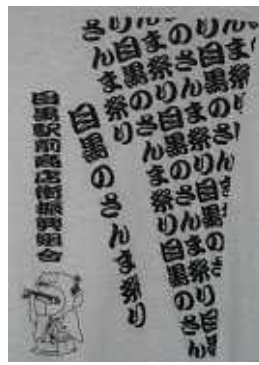
スタッフが着る記念Tシャツのデザインの変遷。残念ながらもう二度と着ることはできません。



2007年9月9日



2008年9月7日



2009年9月6日



2010年9月5日



2011年9月4日

《編集後記》

震災や台風を乗り越えてやってきたくれた秋刀魚たち。今年も最後まで焼き続けました。募金箱には1万円札も入っていました。来場者の熱い気持ちが伝わってきます。来年もまた、楽しく秋刀魚を焼けるよう、一日も早い復興を願わずにはられません。がんばれ！宮古！（文責山田）